

2018年2月1日施行ルール Q&A

総則

Q1 手具の場外で、一度外に出た手具がフロアに戻ってきてもう一度外に出た場合、ライン減点はどのように減点をしますか？

A1 1回のみ減点を与えます。減点は-0.3です。

Q2 ジョイントされたクラブ3組6本が同時に出た場合、または同時に6本ジョイントされたまま3本が場外3本はフロア内にあった場合のライン減点は？

A2 同時に3組6本のライン減点は - 0.9、3本が場外3本はフロア内のライン減点は - 0.6。


個人D1・2

Q3 個人ジャンプ・バランス・ローテーションの数について、フォームの不足でジャンプがすべてノーカウントだった時に0.3の減点を入れますか？

A3 難度を**実施**していれば減点はしません。

Q4 ジャンプ難度について、中くらいの誤差0.3の減点と、大きなシーソー0.5の減点があった場合、ジャンプ難度はカウントしますか？

A4 **0.5**の大きなシーソーがあった場合、難度はノーカウントです。

Q5  ⇒実施予定
0.5 0.5 0.5

 ⇒実施結果 どのようにカウントしますか？
A5 0.3 0.5 **0.3** このようにカウントします。

Q6 フェットバランスは1秒の静止は必要ですか？

A6 **ダイナミックバランスには静止は必要ありません。アクセントが必要です。**

Q7 バランスの1秒の静止がない場合0.3の減点ですが難度はノーカウントになりますか？

A7 1秒の静止がなくカウントできるのは、**形が明確で手具要素を正確に実施した場合**です。そうでない場合は、1秒の静止がなければノーカウントです。また、0.3の減点でカウントになるのは、**誤差が0.3の減点の場合**です。

Q 8 ローテーション難度において
最低限の基本回転終了前までに形に達していること。180度が基本回転の場合は、プレバ
レーションから180度に達するまでに形に達するということですか？


A 8 ローテーション難度は180度、360度、ともに形ができてからの回転数を確認します。
180度が基本回転のローテーションは180度に達するまでに形を作って下さい。
形ができてから180度あればカウントします。

Q 9 ローテーション難度中にホップがあった場合は、難度はカウントしますか？

A 9 -0.1のホップは全てカウント、-0.3の場合はホップの後はノーカウントです。

Q 10 形の変更を伴うピボットで、最初のローテーションに手具操作はなかったが360度の回
転があり、2回目のローテーションに手具操作はあるが360度の回転がない場合のカウ
ントはどのようになりますか？

A 10 2つともノーカウントです。

Q 11 難度図  胴の後屈を伴う開脚リープの開脚度に関しては、胴の後屈に対する誤差に
対してのみ記載がありますが、開脚度については、誤差を認めないのですか？

A 11 開脚ジャンプ（スプリットリープ）の難度図を見て下さい。開脚ジャンプにおける誤差が
適用されます。

個人D 3・4

Q 12 Rでロープの片端を失い中断があった場合、Rはカウントですか？

A 12 カウントです。例えば上腕で受けたなどのミスがあっても落下しなければカウントです。
転んで受けてもカウントです。

Q 13 AD0.3の操作の項目について。異なる部位の持ち替えということですが、同じ部位だった
場合は0.2のADになりますか？

A 13 ADのベースと基準がルール通り実施されているかを見て判断して下さい。

Q 14 AD0.3の例、両手の補助なく最低2つの異なる身体の部分による持ち替えについて、もう
少し詳しく教えてください。

A 14 右足と左足、右腕と左腕の持ち替えは、最低2つの異なる身体部分になります。
例えば、腕から足へのフープの持ち替えなども該当します。ベースの実施中に基準があ
るかなど実施を見るようにして下さい。

Q 15 AD 0.3のカウントについて、身体上の2部位の転がしはすべての手具に該当しますか？
クラブやリボンのスティックの転がしなどはカウントしますか？

A 15 全ての手具がOKです。身体上の2部位（頭は2部位には含まれない）を転がすことが必
要です。

Q16 大きな投げ／中くらいの投げの違いを教えてください。

A16 ルールブック P22 記載通りです。

(中くらい・・・身長の1～2倍の高さ、大きな・・・身長の2倍を超える)

Q17 リボンのエシャッペで高く投げれば、高い投げとなりますか？

A17 身長の2倍の高さがあれば高い投げとなります。

個人E (芸術・技術)

Q18 床に手具をつけて支えた場合の減点は全て 0.5 ではないのですか？

A18 バランス難度の始めに形を整える程度の支えについて 0.1 の減点になります。完全にバランスを失い床に手具をつけて支えた場合は 0.5 の減点になります。

Q19 BD の技術減点について、1 つの BD で、誤差による減点＋シーソーでの実施の場合、両方を減点しますか？

A19 1 つの BD 中に両方減点します。

Q20 もともと関節の曲がり(膝の骨が出ているなど)のある選手について、減点はそのつど入れますか？

A20 骨格やスタイルはルール上の問題ではありません。ルールは動作中の 1 部位の不正確な保持(足/膝の位置、肘の曲がり、肩の位置)について減点が発生します。

『身体の』ではなく『動作中』のという意味を理解して下さい。

団体D 1・2

Q21 BD のカウントについて、同時に、素早く実施しなければいけないのは最低 3 個(ジャンプ、バランス、ローテーション)で、それ以外は、サブグループで良いのでしょうか？

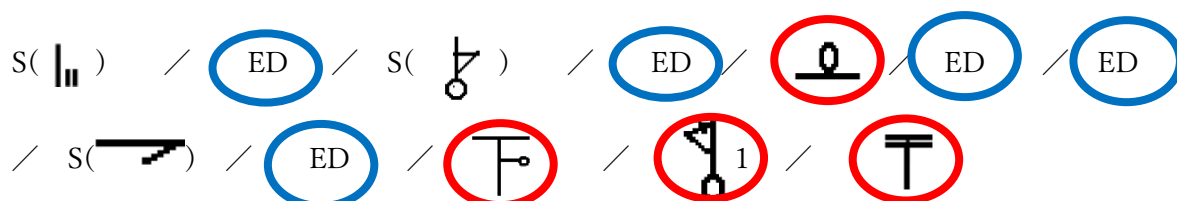
A21 良いです。

Q22 団体の BD を 5 人同時に行う件について時差とはどれくらいまでが許可されるか？

A22 同時または次々と素早くです。

Q23 団体の BD おけるカウントの仕方について、実施順にカウントした場合に、ダンスステップ中の 0.1 の BD を入れて、順番にカウントしていきますか？

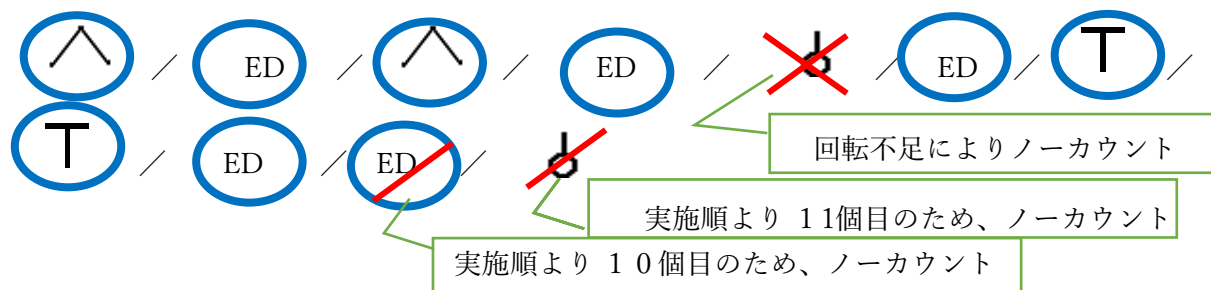
A23 ダンスステップ中に 0.1 の BD を入れることは可能です。(イリュージョンを除く)従って、ダンスステップ中の 0.1 の BD のカウントの順番には含まれません。0.1 の難度を除いて順番にカウントして下さい。



Q24 団体において0.1のBDをステップ中に別々に実施した場合、BDをサブグループで実施したという減点がありますか？

A24 減点はありません。ダンスステップ中の0.1の難度は、カウントの順番に含めません。

Q25 D1の減点について 以下のように実施（身体難度はすべて同時に実施）。



この場合、ローテーションがないという0.3の減点がありますか？

A25 実施しているため、減点はありません。

Q26 0.1より高い価値のBDを5個以上入れても良いのですか？

A26 良いです。

Q27 交換において、衝突は落下していなくてもノーカウントですか？

A27 ノーカウントです。

Q28 交換を場外で受けた場合はノーカウントになりますか？

A28 落下がなければカウントします。

Q29 団体のEDの追加の基準（手以外や視野外など）の繰り返しはカウントできますか？

A29 同じものでもカウントできます。CR,CRRの追加基準、Rの追加基準ともに同様です。

団体D3・4

Q30 CCはサブグループでの実施が可能ですか？

A30 5人が関わる事が必要です。完全なサブグループでは認められません。

Q31 CCにおける異なる2種類について、投げの技術が異なれば投げだけでも良いのですか？

A31 2種類の技術を2回です。投げだけや受け渡しだけではノーカウントとなります。

Q32 CCについて、ロープとボールの団体において、ボールのみで2種類の受け渡しを実施した場合も認められますか？

A32 5人が関わっていれば、ボールのみで違う技術（例えば、突きと転がしなど）で実施しても認められます。

2種類というのは、・投げと転がし・突きと手渡し、などを意味します。

Q33 CCについて 2種類の受け渡しがあり、さらに高い投げも含まれていた場合、認められますか？

A33 認められません。

Q34 CCについて、その他とはどのようなものが該当しますか？

A34 手渡しも可能です。

Q35 CR,CRRの回転要素に、0.1を超えるBDを使うことはできますか？

A35 可能です。

Q36 CRRにおいて、膝より低い位置に手具があった場合、CRRはノーカウントですか？

A36 CRとしてカウントします。

Q37 CR,CRRにおいて、回転をした選手が手具を打ち返した場合、打ち返した手具を取る、または他の選手からの手具を取れば、連係は有効ですか？

A37 有効です。

Q38 CRRにおいて、人の上を飛び越えた後に回転しても良いのですか？

A38 大丈夫です。

Q39 CRRにおいて、人の上を通過するときの高さの規定はありますか？

A39 ルールブックP66の記載のとおり、「手具を超える場合」であるため、人の上を超える場合の高さの規定はありません。

Q40 CR、CRRにおいて、投げで手以外、受けで手以外、両方をカウントできますか？

A40 カウントできます。

Q41 C複数投げにおいて1つの連係で、1人は手以外で複数投げ、1人が視野外で複数投げを同時に行った場合、複数投げは1回のカウントですが、手以外と視野外は両方カウントできますか？

A41 複数投げの価値は各連係に1回のみ与えられます。従って手以外と視野外も1回のみどちらか片方に価値を与えます。両方をカウントすることはできません。

団体E（芸術・技術）

Q42 団体の実施、芸術の減点について、投げの多様性に欠ける、という項目ですが、同じ投げが2つ目に出てきたら、0.2の減点をしますか？

A42 減点は、回数ではなく多様性の減点です。例えば全部が同じタイプであったなど複数回実施された場合に減点します。

Q43 1つの交換・連係において 落下と移動のキャッチがあれば、別々に減点をしますか？

A43 落下と移動は別の減点です。


その他全国講習(2017年12月)からの訂正・確認事項

1. 難度図・胴の後屈を伴う開脚リープについて



0.30 でカウント


の場合に、明らかに胴の後屈をするアクションがあった場合は、実施技術 ET より - 0.5 の減点を入れます。

2. BDにおける身体の広い部分での吊り下げ  について

BDはノーカウントとなり、手具の静止の減点 ET - 0.3 の減点が入ります。

3. リボンでの R について

布部分をキャッチした場合も R はカウントします。

4. R・AD・EDにおいて、身体上を転がしながらダイレクトに受ける  について

背面（首の後ろを通過するもの）を転がした場合には視野外の基準もカウントできます。

5. リボン、ブーメランのについて

ブーメランは、投げまたは受けに1度のみ価値を与えます。特殊な手具のベースの大きな投げの中にブーメランを含むことから、ブーメランでのADには0.3の価値を与えます。

また、Rの終わりに投げ返し、ブーメラン（ADとしてベースと基準が満たされている）をして受けた場合には、Rの価値とADの価値（0.3）を与えます。

6. ADのカウントについて

投げのAD、受けのADにおいて、落下せず移動してキャッチした場合はノーカウントとなります。（0.3を超える減点のため）

7. プレアクロバット要素について

例えば、側転において脚の形のみを変えただけのもの（伸ばすと曲げる）は同じ回転とみなします。脚をスイッチさせるなどの動きがあれば違う回転とみなします。

8. 団体のED、連係において

- 0.3 や - 0.5 の移動の減点があっても、落下せずキャッチすればED、連係はカウントします。

9. 団体、アンサンブル（クラブ3組フープ2）において

クラブのみでの交換も実施可能であり、価値を与えます。